

## 今後の行事予定

### 市民のための健康講座

平成29年10月8日(日)

●時間:12時~13時30分 ※開場:11時30分 ●場所:いちょうホール (八王子市芸術文化会館 大ホール)

講座内容 ピロリ菌の除菌で胃がんを防ぐ! ~胃がん内視鏡検診を活用しよう~

講師:がん研有明病院 消化器内科 藤崎 順子 部長先生

司会:NPO法人 二十歳のピロリ菌チェックを推進する会 代表理事 村井 隆三

主催:NPO法人 二十歳のピロリ菌チェックを推進する会 後援:八王子市医師会・八王子薬剤師会

#### ご来場特典



当日14:30開演の  
胃がんをぶっ飛ばせ! 2017  
~医療関係者によるバンドライブ~に  
無料ご招待させて頂きます!!



問い合わせ先:NPO法人 二十歳のピロリ菌チェックを推進する会(略称:ハタピの会) TEL.042-644-1127 (おなかクリニック内)

### 医療法人社団 永生会

理念:人々に質の高い、安心な、やすらぎにあふれた、リハビリ・マインドのあるヘルスケアサービスを提供します。

永生病院 〒193-0942 東京都八王子市鴨田町583-15 TEL.042-661-4108

南多摩病院 〒193-0832 東京都八王子市散田町3-10-1 TEL.042-663-0111

永生クリニック 〒193-0942 東京都八王子市鴨田町588-17 TEL.042-661-7780

クリニック0(ゼロ) 〒193-0943 東京都八王子市寺田町490 TEL.042-666-1556

#### ●介護老人保健施設

イマジン 〒193-0942 東京都八王子市鴨田町583-15 TEL.042-662-7000

マイウェイ四谷 〒160-0015 東京都新宿区大京町1-3 TEL.03-3355-0428

オネスティ南町田 〒194-0004 東京都町田市鶴間7-3-3 TEL.042-788-0373

#### ●グループホーム

寿限無 〒193-0942 東京都八王子市鴨田町590-4 TEL.042-662-6500

#### ●訪問看護ステーション

めだか 〒193-0942 東京都八王子市鴨田町513-13-1F TEL.042-661-5080

とんぼ 〒193-0914 東京都八王子市片倉町440-2 TEL.042-632-6351

ひばり 〒193-0835 東京都八王子市千人町2-13-8-1F TEL.042-649-6917

いるか 〒193-0364 東京都八王子市南大沢1-18-11-A103 TEL.042-659-2213

口笛 〒194-0004 東京都町田市鶴間7-3-3 TEL.042-706-8810

#### ●居宅介護支援事業所

ケアプランセンター えいせい 〒193-0942 東京都八王子市鴨田町583-15 TEL.042-662-7020

居宅介護支援事業所 片倉 〒193-0914 東京都八王子市片倉町440-2 TEL.042-632-6335

ケアプランセンター ぴあの 〒194-0004 東京都町田市鶴間7-3-3 TEL.042-706-8808

#### ●八王子市高齢者あんしん相談センター

八王子市高齢者あんしん相談センター 片倉 〒193-0914 東京都八王子市片倉町440-2 TEL.042-632-6331

八王子市高齢者あんしん相談センター 寺田 〒193-0943 東京都八王子市寺田町137-4 TEL.042-673-6425

#### ●病児保育室

はる 〒193-0832 東京都八王子市散田町3-8-10 アーデルKSハイム1F TEL.042-663-0111 (南多摩病院 代表)

### 医療法人社団 明生会 セントラル病院

本院 〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-18-1 TEL.03-3467-5131

分院 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町25-1 TEL.03-3465-5131

松濤 〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-11-12 TEL.03-3485-5131

#### ●永生会協力会社

在宅総合支援サービス 十字会ケアステーション 〒193-0833 東京都八王子市めじろ台1-9-1 TEL.0120-537-0800

シャトルバス運行中 永生病院 ▶ めじろ台駅 ▶ 南多摩病院 ▶ 西八王子駅 ▶ めじろ台駅 ▶ 永生病院

さまざまな永生会の機能を患者様・ご家族様・ご利用者様に余すことなく提供できればと考え、コールセンターを開設しています。



永生会コールセンター ☎ 0120-001-083 <http://eisei.or.jp/>

通信eiseiは、年齢や障害の有無に関係なく、多くの人が利用できるようにデザインされたフォント(ユニバーサルデザインフォント)を使用しています。

通信

e i s e i

地域と患者さまに、永生会の今をお届けする



## 特集 永生会の介護について

## CONTENTS

- MESSAGE 医療法人社団永生会理事長 安藤高朗からのメッセージ
- 表紙について
- えいせいNEWS
- お知らせ
- 特集 永生会の介護について
- 知って得するお話し
- 医療と介護の今後
- 交流TOPIC
- あのかたこのかた
- 今後の行事予定

77

2017.08

理事長  
あんどう たかお  
**安藤高朗からのメッセージ**

## 永生会の在宅医療の原点、訪問看護ステーションとんぼについて

今号から永生会の訪問看護ステーションをシリーズでご紹介させていただきます。

とんぼは平成11年に永生会の訪問看護ステーション第一号として開設しました。開設当時から看護師だけでなくリハビリスタッフも在籍しており、それぞれが得た利用者様の要望や変化などを共有し、ひとりひとりが望むことの実現に努めてきました。人として、人同士がつながって今に至る。

永生会の在宅サービスの基盤と言えます。

とんぼの特長は居宅介護支援事業所と高齢者あんしん相談センターを併設していること。3事業所寄れば文殊の智恵! 同施設内であるためスタッフ同士の風通しも良く、迅速で丁寧な対応が行えています。またスタッフは利用者様、ご家族様と一緒に決める、共に生活していくというマインドを持っており、こちらが決めたことを一方的に勧めるのではなく、相手が何を望んでいるかをいつも意識して接しています。

次に訪問看護の専門的な知識を得ている認定看護師の在籍、難病やがんなどの幅広い疾患への対応、ターミナル期のリハビリテーションなど重要な決定や人生の最期を迎える方々の支援に力をいれています。今後は小児の訪問看護サービスのさらなる強化も検討してまいります。



医療法人社団永生会理事長 安藤高朗

看護学生や病院の研修生の受け入れ、外部への勉強会講師派遣、さらには地域の祭事へ救護班として参加するなど地域と一緒に歩む活動にも力を入れています。病気になった時だけの対応ではなく、普段から頼れる「かかりつけ訪問看護ステーション」を目指しています。

## 人工透析 無料送迎サービスを開始しました! (南多摩病院)



南多摩病院の方針は、透析患者さまがご自身で通院することで、筋力低下の防止に努めることができます。しかし、週3日の透析通院は経済的・身体的にも負担がかかります。患者さまが利用しやすい環境を用意できればと考え、無料送迎バスのサービスを開始しました。



### 送迎範囲

送迎範囲は南多摩病院からご自宅まで、4Km圏内にお住まいの方です。巡回バスではなく、患者さま一人ひとりをお迎えにあがります。

※4Km圏外にお住まいの方でご利用希望の方はご連絡願います。

### 対象となる方

- 医師の許可がある方
- 公共交通手段での通院が困難な方
- 決められた透析時間で透析ができる方
- 介護保険の認定を受けている方

南多摩病院のマスコットキャラクター「みなみちゃん」が目印です。  
送迎バスは車椅子を使用されている方でもご利用できる仕様になっております。

**TEL.042-663-0111(代表) 電話受付／8:30～17:00(土・日・祝日を除く)**

Blog安藤たかおの見聞録 <http://ameblo.jp/ando-takao/>



<https://www.facebook.com/takao.ando.395>

### 表紙について



### 地域とのつながりを大切にする 医療機関を目指して

永生会院近隣で行われるめじろ台祭りより。毎年、新人職員が担ぎ手として参加しており、今年も地域の方々と神輿を担いで神酒所をまわりました。職員にとっても地域との交流を深められる貴重な体験です。

### お知らせ

## みなみ野病院(仮称)建設情報4

2018年春に開設を予定しております、このみなみ野病院(仮称)。正式な準備室も立ち上がり、建設工事と並行して運営面での調整も進められています。8月末には就職説明会を開催しました。このみなみ野地域と一緒に支えていくスタッフとのご縁が多くあることを願います。進捗はホームページや誌面にて随時アンウンスしてまいります。今しばらく近隣地域の方々にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

●永生会 みなみ野病院(仮称)ページ  
[http://www.eisei.or.jp/minamino\\_home.html](http://www.eisei.or.jp/minamino_home.html)





## 永生会の介護について

永生会は様々な施設とサービスを有しておりますが、そこで働くスタッフの想いもまた様々です。今号の特集は、永生会の各施設で活躍する介護スタッフにスポットを当て、介護職のやりがいや今後の夢などについてご紹介いたします。

### ■ 永生病院

#### 介護は特別なことではなく当たり前のこと

永生病院で18年ほど介護職として勤めていますが、介護は特別なことではなく、いずれ自分もお世話になる普通のことなどと日々感じています。お互い様の精神と言ふんでしょうか。医療と違って薬や診療が治すのではなく、人との関係がその人を良くしていく面があるので、相手をいかに知るかという点は大切ですね。また、病院施設には専門的な知識を持ったスタッフがたくさんいますので、患者様に合った生活の提供にもつなげていけると考えています。



永生病院  
介護福祉士 秋山 桂さん



南多摩病院  
看護部

### ■ 南多摩病院

#### 病気に負けない自己回復力を整える介護を

南多摩病院では介護ではなく看護助手としての役割が強いのが特徴です。手術後や医療機器への依存、食事・排泄・清潔など入院生活が少しでも快適となるようスタッフは努めています。手術後で動けない辛い時期のケアは心を支え、病気に負けない自己回復力を整えると言います。看護師を目指す職員も多く、日々の患者様とのふれ合いを通じて、医療・介護スタッフとしてのマインドが育つ環境もあります。

### ■ 介護老人保健施設

#### 介護は本人の夢を叶えるためのお手伝い

私は昔から介護の現場が好きで、以前は特別養護老人ホームで12年勤めていました。ご縁あってオネスティ南町田の開設時からお世話になっています。開設時から積極的にレクリエーション行事を取り入れるなどして、施設の中ではなく生活の一部として利用者様が楽しめるよう努めました。ちょっとした工夫や努力で環境や得るものは変わります。「介護ってこんなにおもしろい!」というのを若いスタッフにもっと伝えたいですね。



介護老人保健施設 オネスティ南町田  
介護福祉士 植直仁さん



認知症グループホーム 寿限無  
介護福祉士 太田 和秀さん

### ■ 認知症グループホーム

#### 介護を通じて地域とつながる場づくりを

この寿限無は個別ケアが特長です。8年前の開設時から入所されている方も多く、その人らしく最期まで過ごせる場所となるよう、スタッフは日々努力していますね。ここは病院や老健と違って医療職のまったくない施設です。にもかかわらず利用者様の介護度の進行があまり見られない。ここに介護のすごさがあるように感じています。今後は、地域の憩いの場として、近隣の人たちが気軽に遊びに来るような施設にしていきたいですね。



十字会ケアステーション  
介護福祉士 川合 淳史さん

### ■ 在宅分野の介護

#### 連携を生かした頼れる介護を目指す

この十字会ケアステーションは永生会の医療機関のバックアップを備えているヘルパーステーションです。緊急時にもグループの連携を生かして対応ができる点は大きな特長ですね。環境に加えて、私自身が大切にしてきたのは人とのコミュニケーション。ヘルパー業務、福祉用具の提案、介護タクシーなど幅広い業務を通じて積極的に利用者様の声や要望に触れるようにしています。何かあったら頼られる、そんな介護を目指しています。

#### ここにも注目! 永生会の介護の良さ



##### リハビリスタッフとの連携

永生会にはリハビリスタッフが多数在籍しています。介護職にとっても体の専門家に介助方法についてアドバイスが得られるなど、技術向上につながる環境です。



##### 定期的な介護職同士の交流

施設が違うと共有意識や関心は自然と減るもの。永生会の介護では「介護部会」を定期的に開催し、スタッフ同士で話し合う場を設けています。

ご紹介したスタッフ以外にも永生会には優秀な介護スタッフが多数在籍しています。一般的に見ても介護は決して楽な仕事ではありません。ですが、介護の仕事でしか得られない経験もたくさんあります。介護のことで不安なこと、知りたいことがあります。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ  
永生会コールセンター  
**TEL.0120-001-083**

## 自衛消防訓練審査会に参加してまいりました!

7月12日、八王子市創価大学ピクトリーグラウンドにて、第50回自衛消防訓練審査会が行われました。自衛消防訓練審査会とは、「自分たちの事業所の安全は自分たちで守る」という意志のもとに、各事業所で編成された自衛消防隊が消火・通報・避難誘導などの消防活動の操法を競う大会で毎年開催されています。

ここ八王子は、高尾山などの登山客に対する救助や山火事対策などにも力を入れており、地域全体の災害に対する意識は高く、今大会にも市内から44事業所55チームが参加していました。永生病院、南多摩病院からも看護部やコメディカル、事務職員ら9名が参加し、南多摩病院の女子隊が準優勝、男子隊、混合隊が入賞するという素晴らしい成績を収めることができました。

患者様はもとより、地域にとって災害時にも頼れる病院となれるようこれからも努めてまいります。



## 身边で手軽な人助け。献血について

永生会では医療講座や介護予防講習、栄養相談などさまざまな医療・介護に関する情報発信や取組みを行っています。献血もまたその活動のひとつです。

献血が必要である理由として、まだ現在の医療技術では血液を人工的に造ることができないこと、長期間の保存ができないことが挙げられます。輸血用の血液製剤の有効期間（採血後）は、赤血球製剤21日間、血小板製剤4日間、血漿製剤1年間となっており、安全かつ有効な輸血療法を行うためには隨時皆さんに献血へご協力いただくことが必要なのです。

また、献血に協力したい気持ちは強くても、人数がまとまらないために献血バスが配車されず、事業所単独での献血が行えないといったケースも多くあるため、住民や事業所などが一体となって多くの献血者を確保するという活動は有効な手段と言えます。

永生病院でも職員だけでなく、患者さま、ご家族さま、地域住民の方々などに献血日の周知を行って参加者を増やすなど、地域ぐるみで行っており、この度その功績を称えられ、日本赤十字社東京支部より受賞いたしました。今まで以上に地域に献血活動が定着していくよう努めてまいります。

日本赤十字社のホームページには献血会場や、各地域の献血バス運行予定表も掲載されていますので、皆さまご協力ををお願いいたします。（参考資料：日本赤十字社ホームページ）

●献血会場のご案内 <https://www.tokyo.bc.jrc.or.jp/rooms/>



あのかた  
このかた

気になる人にスポットを当てて紹介するこのコーナー。

今号は介護老人保健施設オネスティ南町田に勤める若手の介護福祉士、小野さんをご紹介いたします。

介護老人保健施設オネスティ南町田 介護福祉士 小野 航

## いろいろな経験を積んで、介護職の良さをもっと知ってほしい。

●この業界に入ったきっかけは何ですか？

中学3年生の時、家族が病気で入院したことがあるのですが、その時にお世話になった人たちを見ていて漠然と医療や福祉の世界っていいなと思っていました。高校卒業のタイミングで福祉関連の仕事をしたいと考え、学校に進み資格を取りました。

●実際に仕事をしてみて何か感じることは？

基本的なことですが、笑顔で接することであったり意欲的に相手のことを知ろうしたりすることって大事だなと思いました。利用者様の中には寝たきりで反応が少ない方もいます。でも全く反応が無いわけではなく、ふとした時に返してくれる。このことをご家族様に話すと驚くんですよ。利用者様の貴重な変化や反応に触れることができる。介護ってすごく素敵な仕事だなと思います。

●今後、力を入れて取り組みたいことは何ですか？

最近、夜間帯の勤務時に利用者様が急変して救急搬送することがあったんです。大事には至らず事故もなかったのですが、その時はどうしてよいかわからず焦ってしまいました。普段から対応法を意識すること、医療面のスキルや知識も身につけようと考えています。あと、介護職は悪い面ばかりが先行している気がします。やりがいのある仕事なので、介護の良さをいろんな方法で伝えていこうと思います。



## シリーズ 医療・介護施策の惑星直列

### 診療報酬とは？

前々号からシリーズでお送りしている2018年の診療報酬・介護報酬の同時改定について、前回の記事では、「診療報酬」について書かせていただきました。今号では「介護報酬とは何か？」ということについて考えてみたいと思います。

結論から言いますと「介護報酬」とは、介護保険が適用される介護サービスの対価として、サービスを提供した事業者に支払われる報酬のことです。ポイントは「介護保険が適用される介護サービスの対価として」となっているところ。日本国民はなんらかの公的医療保険（国民皆保険）に加入しているので、国民全員が一定の自己負担金を支払うことで必要な医療を受けることができますが、「介護保険」に関しては、加入は40歳以上の方、利用できるのは要介護認定を受けた65歳以上の方のみなので、介護報酬が適応される介護サービスを国民全員が受けることができるわけではありません。

このように、診療報酬と介護報酬には様々な点で違いがあるのですが、一方で、超高齢社会では、病気と共に存しながらの生活や容態に合わせた介護ニーズも増えており、医療と介護の明確な役割分担が難しくなりつつあります。そこで、医療と介護をより連携させることで患者様の状態に即した適切なサービスの提供と、財源や人材の効率化を見越し、来年の介護報酬改定では、新たな介護保険施設である「介護医療院」が創設されることになりました。

介護医療院は医療機能をそなえた要介護高齢者の長期療養・生活を主な目的にした施設系のサービスです。どのような医療や介護が提供され、既存の介護保険施設である特別養護老人ホーム（特養）や介護老人保健施設（老健）と棲み分けされるのか。また、今年度末に廃止される予定だった介護療養型医療施設の転換・猶予期間がさらに6年延長されたことが、介護医療院への移行にどのように影響するのか。介護サービス事業のこれからに要注目です。